

熊本・ブルーシャトーのレポート 2012年6月

UMAライダーさんより、熊本・ブルーシャトーのレポートをいただきました。とっても有名なお店ですね。

■フリー？

先日熊本に言って参りました、熊本といえば日本三大ナントカと言われる「ブルーシャトー」です。曰く「会員の紹介でないと門前払いされる。」芸能人が熊本の営業を喜んで受けるのは「ブルーシャトー」に行けるから。熊本の有志事業家やテレビ関係者はみんな会員である。等々、嘘かホンマか知らないが、まことしやかな噂が飛び交う店である。ダメでもともとと思い、ホテルから電話してみる。「はじめてなんだけど、大丈夫なのかな？」「今どちらでございますか？」と、来てもかまわないようなお返事。「ホテルに滞在してますので、15分くらいで行けます。」「それでしたらご案内できるかもしれません、おいでいただけますか？」と意外なお返事。「じゃ行きます」と、あっさり決定。

■お店へ

路面電車の走る熊本の街中を歩くこと10分、ソープ街に到着。おそらく予習無しに訪れたら絶対わからないであろう地味な店構えを確認しつつ（グーグルストリートビューで確認してから行った）入店。電話したです。と告げると待合室に通される、待合室はものすごい冷房、歩いて汗ばんだ身体には気持ちいいが、そうでない方には冷蔵庫みたいだと思う、私もあっという間に身体が冷却され、震える事になる。ボーイさんは「予約のお客様が飛行機の関係で遅れるようなので・・・」とイレギュラーを強調する。

■ご案内

先に入浴料を支払い程なくご案内となる。ここはボーイさんも一緒にエレベーターに乗り込みエレベーター出口で嬢とご対面となります。小柄でスリムな年のころ30歳代と思われる美人のオネーさんだった、フリーで入ってこのレベルはなかなか無いと思うほどの美人でした。

■おっとり

お部屋に入ってから改めて挨拶をうけるが、これがまたおっとりとして実に埒やかな仕草、90分しか無い（最近では120分以下で入った事が無いので）のにこんなゆったりとして大丈夫なのかと不安を抱きつつ軽く世間話、そしてDK。決して急がされることなくベッドに押し倒され早々にドッキング。嬢は胸はほとんど無いが、私はボインフェチでは無いので問題なく、アンダの剛毛に興奮しつつノックアウト。（私はどちらかと言えば剛毛好き、パイパンの嬢は確実に萎える。）

■椅子>マット

余韻に浸りつつ腕枕でまた世間話。決して急がされることなく椅子（これがまた特殊なカタチの椅子）マットと移行、マットではマット下部に熱いお湯を流しながら客が寒くなるのを防

ぐ 気の使いよう、しかも椅子、マットともちゃんと壺試し。「ベッドでしたいから」と中断してまた湯船。そしてベッドで・・・

■お上がり

また腕枕していると自然とお時間のコール、90分でこんなに充実したのは初めて。金にモノをいわせて120分、240分とエスカレート気味だった私にとって、目からウロコが落ちるような体験だった。終了後のアンケートが店の中ではなく店を出たあと路上で・・・ってのがちょっと嫌だったが、メンバーカードももらったし、これでオレも九州のエグゼクティブの仲間入りだと思うとなんだか妙な気分。総評は「素晴らしい、交通費を使っても行きたい」というのが正直なところです。熊本に住もうかな・・・

■ロビンの感想

濃厚な90分だったようですね。うらやましいですw